

地域の人達にきれいな水を

私が普段飲んでいる水は、家から約一キロメートルほど離れたところにあるダムから届けられていきます。そのダムは「須川ダム」と言っていて、春になるとダムの両端に桜が列に咲いたり、秋になると水面に夕焼けの空がうつって見えたりして季節ごとに姿を変えるところでも美しいダムです。中でも須川ダムを大きく二つに分けるようにして架かっている橋から眺める景色は最高です。運の良いときだと鳥の親子が泳いでいたりすることもあります。私はそんな水を届けてくれるだけでなく、私達の心まで満たしてくれる須川ダムを誇りに思うし、いつまでも大切にしていきたいと思っています。

しかし、そんな地域の人達の生活にかかせない水を届けてくれている須川ダムが今少しづつ汚れ始めています。汚れ始めている原因はたくさんありますが、その中でも多いのが

奈良市立興東中学校 二年

浦野 美咲

「ポイ捨て」と「釣り」によるものです。家までゴミを持ち帰るのがめんどろだと考える人が多いのか、須川ダムに沿って続く道にはたくさんさんのゴミが落ちています。お弁当の容器や空かん、ビニール袋などが草でかくすように捨ててありました。私は、その捨てられているゴミ達を見て強くショックを受けました。それと同時に、怒りもわきおこってきたのを覚えていきます。

もう一つ、汚れ始めている原因になっているのが釣りです。遠い海や川まで釣りに行くより、近くの須川ダムのほうが良いと考える人が多いのか、たくさんさんの人々が釣りにやっています。もちろんダムで釣りをするのは禁止なので、やめてもらおうと看板などもたててあるのですが、釣りをやりに来る人は絶えません。その看板のすぐ横で釣りをしているひどい人もいます。それに、車で来る人が多

いのか、道にとめられている車が通行のじやまになつたりもしています。私は、そんなポイ捨てや釣りなどによつて少しづつ汚され始めている須川ダムを見て「自分に何ができるのか」と考えてみることにしました。

まず、ポイ捨てをやめてもらうには「ポイ捨てをするとどうなるのか」ということをしっかりと分かつてもらうことが大切だと思います。なので、それを詳しくかいた冊子を配つたりネットにサイトをつくつたりすると良いのではないかと思ひました。それと、より分かりやすくするためにイラストや、大きな文字で「ゴミを捨てないで」などがかかれてある看板を設置するのも良いと思います。次に、釣りをやめてもらうには、今まで以上に強く「釣りをしないで」ということを伝えていかなくてはならないと思ひます。看板の設置する場所を増やしたり、ポイ捨てのときと同様に冊子を配つたりネットにサイトをつくつたりするのも良いと思ひます。そして、私は何よりも大切なのは一人一人が「自分達の飲む水を届けてくれる須川ダム

を守りたい」と言う気持ちを持つことだと思ひます。そうすることで須川ダムは今以上にきれいで美しいダムになると思ひます。私は一人でも多くそう思つてくれる人を増やすためにこれから努力していきたいと思ひます。自分達の飲む水は、自分達で守つていきたいです。